

## 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 3 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣には民家も少なく、地元住民との関わりや取り組みが難しい。地区の行事(夏祭り、運動会等)への参加、地域のゴミ拾いなどの活動は行っているが、日常的な交流を行うまでは至っていない。	地域に開かれたグループホームを目指す。	地域のイベント(運動会、祭りなど)に参加する。喫茶店等のイベントを施設で行い、地域の方に来ていただく。 地域ぐるみの防災、緊急時の協力体制作りを行う。 ゴミ拾いを継続して行う。	12ヶ月
2	36 37	一人一人の誇りやプライバシーを損ねないような対応を心がけているが、業務の多忙な時や、なじみの関係が馴れ合いになってしまう場合等、その方の尊厳や生活のペース、自己決定が疎かになる場合もある。	利用者主体の生活支援を目指す。	本人の希望が言いやすい環境(生活)づくりを行う。 職員の意識改革(業務より利用者を優先)。 勉強会を通しての知識の向上を図る。(認知症の理解)	12ヶ月
3	19	新型インフルエンザの流行もあり、いくつかのご家族との行事が中止となり、家族との交流の機会を作ることができなかった。利用者を支える仲間としてどのように関わりを創っていくか難しいところである。	家族との関係作りの強化を目指す。	行事参加への呼びかけは継続して行い、従来のように見るだけではなく、利用者、職員と一緒に活動できるような取り組みを行う。 家族の会を作り、家族会を年に1回は開催できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。